

第3・4学年 国語科学習指導案

日時 平成18年10月13日(金)公開授業
 学級 第3学年 男子4名 女子2名 計6名
 第4学年 男子1名 女子4名 計5名
 指導者 教諭 杉浦 美香子

本単元における「読むこと」の指導内容
 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。(オ)

1 単元名 大事なことをたしかめよう
 教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物がかせになろう」

1 単元名 材料の選び方を考えよう
 教材名 「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」

2 単元について
 (1)児童の実態

児童はこれまでの説明文に関わる単元で、時間的な順序や事柄の順序に気をつけて文章を読んだり、段落の要点をまとめたりする学習を行ってきた。このような学習の中で、段落に書かれてある内容を読み取るために、接続語や重要語句、文末表現等に注目することができるようになってきている。また、文章全体の中で「問い」や「答え」となる部分を見つけ、「はじめ」「中」「終わり」という文章構成を考えることもできるようになってきている。しかし、細部にわたり叙述に即して正確な読み取りをする力は、まだ十分とはいえない。段落相互の関係を考えながら読むことについても、さらに学習を繰り返しながら身に付けていく必要がある。

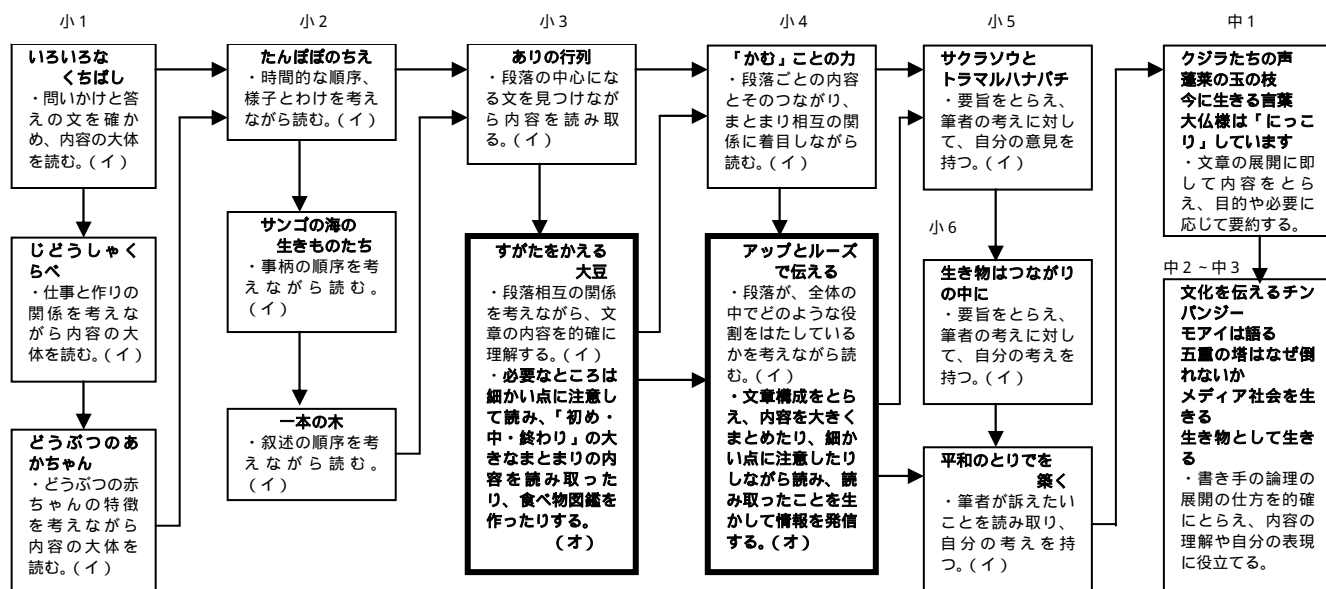
学習の進め方においては、既習事項をもとに課題解決の見通しを持つことができるようになってきており、個別指導が必要な場合もあるが、見通しをもとに自力解決に取り組むこともできるようになってきた。また、既習事項を確認したり、本時で学んだことを振り返ったりすることによって、学んだことが次のどんな学習につながっていくのかについて関心を持ち、これからの学習に対して見通しと意欲を持つこともできるようになってきた。音読や話し合いの場面では、教科リーダーを中心とした活動にも慣れてきている。視写等の作業には個人差があるが、全体的に意欲を持って取り組んでいる。

2 単元について
 (1)児童の実態

児童はこれまでの説明文に関わる単元で、時間的な順序や事柄の順序に気をつけて文章を読んだり、段落の要点をまとめ、意味段落のまとまりを考えたりする学習を行ってきた。このような学習の中で、接続語や重要語句、文末表現等に注目して、段落の中心の内容をとらえることが徐々にできるようになってきている。また、意味段落に分けて「はじめ」「中」「終わり」といった文章構成を考えることができるようになってきている。しかし、叙述に即して文章の内容を正確に読み取ったり、構成を意識しながら読んだりする力は、まだ十分とはいえない。

学習の進め方においては、既習事項をもとに課題解決の見通しを持つたり、見通しをもとに自力解決に取り組んだりすることができるようになってきた。また、既習事項を確認したり、本時で学んだことを振り返ったりすることによって、学んだことが次のどんな学習につながっていくのかについて関心を持ち、これからの学習に対して見通しと意欲を持つこともできるようになってきている。音読や話し合いの場面では、教科リーダーを中心とした活動の中で、自分の考えを進んで述べるができるようになってきた。視写等の作業には個人差があるが、全体的に意欲を持って取り組んでいる。

(2)教材について
 <単元系統図>



第5・6学年では、文章の要旨や筆者の主張を読み取り、自分の考えを持つことを目標としている。文章の全体像をとらえ、全体として筆者が言いたいこと(要旨)は何かを把握するために、各学年において、正確な読み取りの仕方を身に付けさせていきたい。

第1・2学年の説明的文章における読みの力は、時間的な順序や事柄の順序に従って内容をおさえ、書かれていることの大体をとらえることが基礎となる。順序に重点をおいた学習は、第3・4学年の、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を把握したりする学習と関連している。第2学年「たんぼのちえ」や「サンゴの海の生きものたち」では、時間的な順序や事柄の順序に関する表現のほか、「なぜ」という、わけをたずねる言葉に対応する答え方が「それは、からです。」であることや、文末の表現のしかたに意味があることを学ぶ。

第3・4学年では、部分をまとめ、つなげ、比べるなどを通して、全体構造をよく理解し、さらに目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読む力が要求される。「ありの行列」において段落の存在を知り、既習の「たんぼのちえ」「サンゴの海の生きものたち」を想起することにより、問題提起している段落や答えとなる段落を探す。問題提示文やその答えとなる段落をとらえることは、第5・6学年における要旨の把握に直接つながっていく。ここでは、文末表現の違いから、観察、研究したことを書いた文、分かったことを説明している文を読み分ける。文末表現に注意することは、事実と意見を読み分ける力につながる。

また、繰り返し使われる言葉や題名に関わりのある言葉を重要語句としてとらえさせ、段落の中心をとらえる手がかりとさせる。文章全体の構造をとらえるため、「はじめに」「次に」という順序を表す接続語、「このように」という全体のまとめを表す接続語の役割に着目させる。「すがたをかえる大豆」では、中心となる語や文を手がかりに段落ごとの内容を読み取る。既習の接続語の役割を想起しながら、文章全体を「初め」「中」「終わり」に分ける。要点や小見出しをまとめることで段落意識を高め、段落相互の関係をとらえさせる。「かむことの力」では、接続語に着目しながら段落と段落をつなげて、文章全体をいくつかのまとまりに分ける。大見出しをつける学習を通して、まとまりごとに何が書かれているかをとらえ、文章全体の構成をつかむ。「アップとルーズで伝える」においては、小見出しや大見出しをつける学習を通して内容を大きくまとめたり、これまでの学習を手がかりに、細部に注意して細かく検討しながら読みだす。第5・6学年で要旨をまとめる際、大きなまとまりごとの中心的内容を正確にとらえることが大切であるので、中学年までに、大きなまとまりごとの内容把握に慣れさせたい。

第5・6学年では、中学年までの説明的文章の読み方を想起させ、重要語句に着目して段落ごとの内容をとらえたり、段落と段落をつなげてまとまりごとに何が書かれているかをとらえたりする。さらに、筆者の主張の軽重や表現の工夫の吟味をしながら筆者の考え（要旨）をつかみ、明確に自分の意見を持つようにさせたい。要旨をまとめる学習は以後中学校3年生まで続く。

本単元は、まず、説明的文章である「すがたをかえる大豆」で、接続語や重要語句に着目しながら内容を読み取る学習をし、その上で「食べ物はかせになるう」では、自分で調べたい食べ物を選んで、それに関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。

「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には児童にも身近なものである。しかし、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、その意味で、意外性を持って読むことができる内容である。「はじめ」の部分で話題提示がされ、「中」では、「いろいろ手を加えておいしく食べる工夫」について5つの事例が述べられている。「終わり」には、「このように」という接続語を使って、まとめや筆者の考えが書かれていて、分かりやすい文章構成となっている。また、段落構成や中心文、重要語句も明確で、要約などの学習にも適しており、段落相互の関係についても学習を深められるものと考えられる。

(3)指導にあたって

大豆を使った食品について知っていることを発表したり、実物の大豆に触れたりすることで、大豆についての関心を高めたい。

文末表現や重要語句、指示語、接続語の働きなど、既習事項を手がかりに中心文を見つけ、大豆が食品に姿を変える方法を読み取ることができるようにする。

段落の要点をまとめたり、小見出しをつけたりする学習を通して、段落意識を高め、段落相互の関係をとらえさせる。

私たちの身近にある大豆が、先人の知恵によっていろいろな食品に姿を変えているという事実には驚きや感動を味わわせ、食べ物や食生活を振り返るきっかけとしたい。

自分が興味を持った食べ物について調べ、情報発信することを意識させて学習を進める。

3 単元の目標及び評価規準

(1)単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

身近な食べ物についての知識を得るとともに、興味を広げようとする。

【書くこと】

書こうとするものの中心を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して書くことができる。

【読むこと】

段落相互の関係を考えながら、大豆を食べる工夫について正しく読み取ることができる。

【言語についての知識・理解・技能】

文章全体における段落の役割を理解することができる。

(2)評価規準

国語への関心・意欲・態度	身近な食べ物についての知識を得るとともに、興味を広げようとしている。
書く能力	書こうとするものの中心を明確にしながら、段落と段落の続き方に注意して、調べた内容を事柄ごとに書いている。
読む能力	段落相互の関係を考えながら、大豆を食べる工夫について正しく読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	文章全体における段落の役割を理解している。

本単元は、まず、「アップとルーズで伝える」で、テレビや新聞などを通して届けられる映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであることを考えさせ、その上で、「四年三組から発信します」では、自らが情報発信者となり、情報の収集、選択、発信を体験させるようになっている。

「アップとルーズで伝える」では、サッカーの試合の放送を例に、テレビの映像技法であるアップとルーズについて述べている。「はじめ」の部分で、「アップ」と「ルーズ」の意味を説明し、問題提起をしている。「中」では、それぞれの伝えられることと伝えられないことについて説明している。「終わり」では、写真の場合も例に挙げながら、筆者の考えをまとめている。アップとルーズについて対比的に分かりやすく述べられており、段落構成をつかんだり、中心文や重要語句を見つけ要約したりする学習に適していて、読む力をはぐくむ教材として十分な内容を持ったものとなっている。

(3)指導にあたって

「アップ」と「ルーズ」という耳慣れない言葉が入っている題名に着目させ、読み進めることに期待感を持たせたい。

文末表現や重要語句、指示語、接続語の働きなど、既習事項を手がかりに中心文を見つけ、アップとルーズの長所と短所、それぞれが目的に応じて使い分けられていることを読み取ることができるようにする。

段落ごとに小見出しをつけたり、段落のまとまりに大見出しをつけたりする学習を通して、文章全体の構成をとらえさせる。

メディアを通じてわたしたちが受け取っている情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気づかせ、相対化する視点を持たせたい。

相手が知りたいと思うことは何かを考えながら話題を選び、意図に応じて写真を使い分けたり、相手に応じた書き方の工夫をしたりしながら、情報発信の学習を進める。

3 単元の目標及び評価規準

(1)単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味を持つ。

【書くこと】

学校や地域にある物について知らせるために取材し、相手と目的に応じて選材して分かりやすく伝えることができる。

【読むこと】

段落の役割をとらえ、文章全体の構成をつかみながら、アップとルーズのそれぞれの特徴を読み取ることができる。

【言語についての知識・理解・技能】

文章全体における段落の役割を理解することができる。

(2)評価規準

国語への関心・意欲・態度	対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味を持っている。
書く能力	学校や地域にある物について知らせるために、相手と目的に応じて、取材したことを分かりやすく書いている。
読む能力	段落の役割をとらえ、文章全体の構成をつかみながら、アップとルーズのそれぞれの特徴を読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	文章全体における段落の役割を理解している。

4 指導計画（全 17 時間）

次	時	学習活動	評価規準
1	1	・全文を読んで新出漢字の読みを確かめたり、大豆を使った食品に目を向けて関心を持ったりしながら、学習計画を立てる。	（関）大豆を使った食品について興味を持ち、見つけようとしている。 （言）漢字や語句について理解している。
	2	・おおまかな文章の構成をつかみ、学習課題を持つとともに、自分も情報発信者となることを知る。	（関）文章構成を考えながら、何について書かれた文章が考えようとしている。 （読）「はじめ・中・終わり」の文章構成を接続語等に注目しながら考えている。
2	3	・第 1・2 段落から、大豆がいろいろなか食品にすがたをかえていることや、なぜおいしく食べる工夫がされているのかを読み取る。	（読）大豆がすがたをかえるわけを読み取っている。
	4	・第 3・4・5 段落から、おいしく食べる工夫を読み取る。	（読）やわらかくおいしくする、こなにひく、ちがう食品にする工夫を読み取っている。
	5（本時）	・第 6・7 段落から、小さな生物に力をかりてちがう食品にする工夫や、取り入れ時期や育て方を工夫することを読み取る。	（読）小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れ時期や育て方を工夫することを読み取っている。
	6	・第 8・9 段落から、文章のまとめや筆者の考えを読み取る。	（読）他の作物に比べて、大豆が多く食べ方が考えられた理由について読み取っている。
	7	・段落の要点を振り返り、文章構成を確かめる。	（読）段落ごとの要点から、文章構成を確かめている。
	8	・「食べ物がかせになろう」を読み、学習の見通しを持つ。	（関）身近な食べ物に興味を持ち、調べたい食べ物を決めようとしている。 （書）学習の進め方や身につけたい力について見通しを持っている。
	9～11	・本での調べ方を知り、自分が決めたことについて調べて、カードにまとめる。	（書）書こうとする内容について、段落を意識しながらカードに書き込んでいる。
3	12～15	・カードをもとに調べたことを整理して文章にまとめるとともに、自己評価、相互評価する。	（書）文章構成を考えながら、書こうとする中心をはっきりさせて段落ごとに書いている。
	16	・自己評価、相互評価をもとに推敲、清書する。	（書）自己評価、相互評価を生かして、書いている。
	17	・互いの文章を読み合い、評価し合う。	（関）互いの文章に関心を持ち、よさを見つけようとしている。 （書）書かれた文章を読み合い、そのよさに気づいている。

4 指導計画（全 17 時間）

次	時	学習活動	評価規準
1	1	・全文を読んで新出漢字の読みを確かめたり、おおまかな文章の内容をつかんだりして学習計画を立てる。	（関）アップとルーズという言葉に関心を持ち、意味を確かめようとしている。 （言）漢字や語句について理解している。
	2	・文章構成を確かめ、読み取りの見通しを持つとともに、自分も情報発信者となることを知る。	（関）文章構成を考えながら、何について書かれた文章が考えようとしている。 （読）文章構成をつかみ、段落の役割をおおまかにつかんでいる。
2	3	・第 1・2・3 段落から、「アップ」と「ルーズ」の意味を確かめ、どのような問題が提示されているか読み取る。	（読）写真と文章を対応させながらアップとルーズの意味や問題提示文を読み取っている。
	4（本時）	・第 4・5・6 段落から、アップとルーズの特徴や、目的に応じて使い分けられていることを読み取る。	（読）アップとルーズの長所と短所を読み取り、それぞれの段落の役割を理解している。
	5	・第 7・8 段落から、アップとルーズは相手や目的に応じて使い分けられていることを読み取る。	（読）アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることや筆者の考えを読み取っている。
	6	・各段落に小見出しをつけ、さらに段落のまとまりを考えて大見出しをつける。	（読）各段落が文章全体の中でどんな働きをしているのかをとらえている。
	7	・教材文全体の内容をまとめ、次時の活動内容を知る。	（読）それぞれの段落の役割を考えながら、教材文を要約している。
	8	・「四年三組から発信します」を読み、学習の見通しを持つ。	（関）どのような学習活動をするのか考えようとしている。 （書）「新聞記者になろう」を想起し、違いを明確にすることで学習の見通しを持っている。
	9	・教科書作例を見て、メモと完成した作品のちがいや工夫について考える。	（書）メモと完成した作品との違いや工夫に気づいている。
3	10～12	・取り上げる題材を決め、取材する。	（書）目的や相手に応じて、必要な材料を集めている。 （読）目的に応じて、本を探して読んでいる。
	13～15	・記事を書いたり、割り付けをしたりする。	（書）目的や相手に応じて、必要な材料を選び、記事を書いたり、割り付けをしたりしている。
	16	・自己評価、相互評価をもとに推敲、清書する。	（書）伝えたいことが相手に分かるよう言葉や表現を考えて書いている。
	17	・互いの文章を読み合い、評価し合う。	（関）他の文章のよさを進んで見つけようとしている。 （書）書かれた文章を読み合い、そのよさに気づいている。

5 本時の手立て

見通す段階では、既習の 段落から、どのように中心文を見つけたか想起させる。「くふう」という語句や、要点にかかわる大事な文を段落のはじめに書くという筆者の文章の書き方に着目して中心文を見つけることを確認する。

考える段階では、部分視写をさせたり、重要語句に着目させたりしながら、中心文に気づくことができるようにする。

深める段階では、中心文を選んだ根拠を話し合い、叙述に即して書かれている内容を確認しながら、正しく読み取っていく。大豆がみそやしょうゆなどに加工される過程を、絵や写真と対応させて確かめながら、さまざまな工夫によって大豆が別の食品にすがたをかえていることを理解させたい。

6 本時の指導

(1)目標

大豆をおいしく食べる工夫について読み取ることができる。

(2)評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

大豆をおいしく食べる工夫に興味を持ち、見つけようとしている。

【読む能力】

小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れ時期や育て方を工夫したりすることを読み取っている。

(3)展開

5 本時の手立て

見通す段階では、既習の 段落で提示された問題文を確認し、問題文の中にある「ちがい」とは、「伝えられること」「伝えられないこと」であり、 段落では、「よく分かること」「よく分からないこと」と表現されていることを確認する。接続語「しかし」「でも」や文末表現「よく分かる」「分からない」という語句に着目して中心文を見つけることを確認する。

考える段階では、部分視写をさせたり、文末表現に着目させたりしながら、中心文に気づくことができるようにする。教科リーダーを中心に、自分の読み取りとその根拠を話し合わせることににより、主体的な読みができるようにする。

深める段階では、どんな考えが出されたか、教科リーダーに報告させる。文末表現や接続語を確認し、写真と対応させて確かめながら、アップとルーズのちがいを理解させたい。既習事項である接続語「このように」の働きや、第1・2・3段落の文章構成から、第4・5段落と第6段落の関わりを考えさせる。

6 本時の指導

(1)目標

アップとルーズの長所・短所を読み取り、それぞれの段落の役割を理解することができる。

(2)評価規準

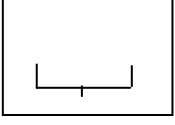
【国語への関心・意欲・態度】

アップとルーズには、それぞれ長所と短所があることを知り、どのように使い分けしているか考えようとしている。

【読む能力】

アップとルーズの長所と短所を読み取り、それぞれの段落の役割を理解している。

(3)展開

段階	指導上の留意点 (評価の観点及び方法)	児童の学習活動	学習内容	形態	学習内容	児童の学習活動	指導上の留意点 (評価の観点及び方法)	段階
つかむ 3分	・掲示物から想起できるようにする。	・大豆がどんな食品にすがたをかえていたか思い出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・に豆 ・いり豆 ・きなこ ・とうふ</div>	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。		1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">アップとルーズの、伝えられること、伝えられないことについてまとめよう。</div>	・ ~ 段落の文章構成を思い出す。 	・掲示物から想起できるようにする。 ・文章と写真を対応させて確認する。	つかむ 3分
見通す 4分	・既習事項から、段落の初めに中心文が書かれていたことやキーワードから、中心文を見つけられることに気づかせる。 食べる工夫に興味を持ち、見つけようとしている。 <関>(発言) ・おいしく食べる工夫について書かれているところを探しながら音読させる。	・中心文の見つけ方を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・「くふう」「ちがう食品」というキーワードを探す。 ・段落の初めに書かれている文章に気をつける。</div> ・学習範囲を音読する。	3 課題解決の見通しを立てる。		3 課題解決の見通しを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ はアップについて ・ はルーズについて ・ は、 をまとめている。</div>	・全文を音読する。 ・ 、 、 段落の内容をおおまかにとらえる。	・アップとルーズの伝えられること、伝えられないことについて書かれているところを探しながら音読させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・既習事項の「このように」の役割を想起させ、 段落は、 段落をまとめている段落であることを気づかせる。</div> アップとルーズにはそれぞれ長所と短所があることに関心を持ち、違いについて考えようとしている。 <関>(発言)	見通す 16分

段階	指導上の留意点 (評価の観点及び方法)	児童の学習活動	学習内容	形態	学習内容	児童の学習活動	指導上の留意点 (評価の観点及び方法)	段階
考える 12分		<ul style="list-style-type: none"> 段落の中心文を見つけ、サイドラインを引く。 大豆をおいしくする工夫をワークシートに書く。 	4 学習課題を考えるために読み考える。			<ul style="list-style-type: none"> 中心文の見つけ方を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「よく分かりませぬ」という文末表現 「分かりませぬ」という文末表現 「しかし」「でも」というつなぎ言葉 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 伝えられることは、「よく分かること」伝えられないことは、「分からないこと」であることに気づかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項の「しかし」「でも」の役割を想起させ、接続語の前後に着目すればよいことに気づかせる。 </div>	
深める 14分	<ul style="list-style-type: none"> 中心文を選んだ根拠を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> サイドラインを引いた文章を発表し、おいしくする工夫について読み取る。 	5 学習課題を解決するために、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、読み深める。		4 学習課題を考えるために読み考える。	<ul style="list-style-type: none"> 段落の中心文を見つけ、サイドラインを引く。 アップとルーズの伝えられること、伝えられないことをワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 「早く終わった児童は、小見出しを考えさせる。 	考える 6分
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 目に見えない小さな生物の力をかりる。 とり入れる時期や育て方を工夫する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「えだ豆」「もやし」ができる過程について読み取る。 「初め 中 終わり」の文章構成を考える。 		5 学習課題を解決するために、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、読み深める。	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習で考えを話し合う。 サイドラインを引いた文章を発表し、アップとルーズの違いを読み取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> アップでとると、～がよく分かります。しかし、～では分かりませぬ。 ルーズでとると、～がよく分かります。でも、～は分かりませぬ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 段落の中心文を読み取る。 、段落 段落との関わりを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いの考えを発表し、同じ考え、違う考えを聞きながら集約させる。 写真と対応させて確かめる。 	深める 8分	
まとめる 12分	<ul style="list-style-type: none"> キーワードの確認をし、まとめられるようにする。 大豆をおいしく食べる工夫について読み取っている。<読>(ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を振り返る。 おいしくする工夫をワークシートにまとめる。 	6 本時の学習をまとめる。		6 本時の学習をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を振り返る。 アップとルーズの伝えられること、伝えられないことをワークシートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アップは、細かい部分の様子はよく分かるが、うっさされていない多くの部分のことは分からない。 ルーズは、広いはんいの様子はよく分かるが、各選手の顔つきや視線、気持ちまでは分からない。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> キーワードの確認をし、まとめられるようにする。 アップとルーズの伝えられること、伝えられないことについて読み取っている。<読>(ワークシート) 	まとめる 12分
		<ul style="list-style-type: none"> 自己評価をす <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもある。 とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もある。 </div>	7 学習を振り返る。		7 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価をす 学習したことについて交流しあう。 筆者の考えを読み取ることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生のまとめを聞き、既習内容の理解を深める。 	
		<ul style="list-style-type: none"> た理由について読み取ることを知る。 			8 次時の学習内容を知る。			

(4) 具体の評価規準とその手立て

【国語への関心・意欲・態度】 大豆をおいしく食べる工夫に興味を持ち、見つけようとしている。	
A：十分に満足できる例	前時までの学習を振り返り、解決の方法を考えたり、自分の考えを発表したりしながら、大豆をおいしく食べる工夫について理解しようとしている。
B：概ね満足できる	前時までの学習を振り返り、解決の方法を考えたり、自分の考えを発表したりしている。
Bに至らない児童への手立て	前時までの学習を掲示やシートから振り返らせ、解決の方法を考えさせる。

【読む能力】 小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れ時期や育て方を工夫したりすることを読み取っている。	
A：十分に満足できる例	文末表現や重要語句を手がかりに、どのようなおいしく食べる工夫があるか理解している。
B：概ね満足できる	どのようなおいしく食べる工夫があるか理解している。
Bに至らない児童への手立て	前時までの学習を想起させ、形式段落の中のどこに書かれていたか振り返ったり、手がかりになる語句を確かめたりして考えさせる。

(4) 具体の評価規準とその手立て

【国語への関心・意欲・態度】 アップとルーズには、それぞれ長所と短所があることを知り、違いについて考えようとしている。	
A：十分に満足できる例	前時までの学習を振り返り、解決の方法を考えたり、自分の考えを発表したりしながら、大豆をおいしく食べる工夫について理解しようとしている。
B：概ね満足できる	前時までの学習を振り返り、解決の方法を考えたり、自分の考えを発表したりしている。
Bに至らない児童への手立て	前時までの学習を掲示やシートから振り返らせ、解決の方法を考えさせる。

【読む能力】 アップとルーズの長所と短所を読み取り、それぞれの段落の役割を理解している。	
A：十分に満足できる例	アップとルーズの長所・短所やそれぞれの段落の役割について、接続語や文末表現を手がかりに理解している。
B：概ね満足できる	アップとルーズの長所・短所やそれぞれの段落の役割について理解している。
Bに至らない児童への手立て	前時までの学習を想起させ、接続語や文末表現に目を向けさせて、考えさせる。

(5)板書計画

3年

すがたをかえる大豆

大豆をおいしく食べるくふうについてまとめよう。

手がかり
・くふう ・ちがう食品
・段落のはじめ

目に見えない小さな生物の力

ナットウキン ↓ なつとつ

コウジカビ ↓ みそ、しょうゆ

とり入れる時期や育て方

まだわかってやわらかいうちにとり入れ、さやごとゆでて食べる。

えだ豆

ダイズのたねを、日光を当てずに、水だけやって育てる。

もやし

目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもある。とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もある。

4年

アップとルーズで伝える

アップとルーズの、伝えられること、伝えられないことについてまとめよう。

手がかり
文末表現
・よく分かります
・分かりません
つなぎ言葉
・しかし
・でも

伝えられること

伝えられないこと

アップの写真

ルーズの写真

細かい部分の様子

広いほんのの様子

しかし

でも

うつされていない多くの部分

各選手の顔つきや視線
気持ち

このように、アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあるので、目的におつじて切りかえている。

アップは細かい部分の様子はよく分かるが、うつされていない多くの部分のことは分からない。

ルーズは、広いほんのの様子はよく分かるが、各選手の顔つきや視線、気持ちまでは分からない。